

標十五句

松岡隆子選

更紗着れば吾も島人南吹く
通るたび隣の目高見てゆきぬ
かたばみや足の疲れの置きどころ
売り物のソファーに沈み春逝かす
泰山木裸身のごとき花ひらく
エプロンに母の名を刺す花蜜柑
鳥声の風となりゆく更衣
登るほど空の青きや新樹風
五月来るモデルルームに椅子二つ
夏立つや訪ふに必ず渡る橋
軍艦を見てゐる父の日の親子
飽きるほど薔薇見てなほも薔薇園へ
これよりは令和の子供こどもの日
もう数へきれないほどに鼓草
朧夜のあの世親しと思ふかな

松原ふみ子
別府優
渡辺あつ子
川上昌子
広渡詩乃
濱地恵理子
齋藤充
下平直子
佐藤郭子
唐木和世
佐橋美智子
菊池一枝
中島紀子
植草京子
石崎章子